

**INR-3000SW**  
**(INR-2000/3000 ビューア)**  
**操 作 説 明 書**

Ver.012

2017 年 1 月

**池上通信機株式會社**

改訂履歴

Rev	日付	内 容
00	2013/11/08	初版
01	2014/01/29	表 4. 8 録画時間帯バー拡大／縮小時の表示範囲削除。
02	2014/04/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多画面表示時の制限事項追加。</li> <li>・スナップショット、AVI ファイルの初期保存先変更。</li> <li>・ AVI 変換時の注意事項追加。</li> </ul>
03	2014/10/17	<p>iNVRViewer Ver1.0.4.4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4. 4 センサーアラーム履歴画面追加。</li> <li>・ 4. 5 マップ表示機能追加。</li> <li>・ 4. 6 自動切換パターン登録修正。</li> <li>・ 4. 1 2 電子ズーム操作変更。</li> <li>・ 4. 1 4 画面設定追加。</li> <li>・ 4. 1 5 ログ参照追加</li> </ul>
04	2014/12/17	<p>iNVRViewer Ver1.0.7.1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 画面フロー 検索ボタン→サムネイル検索ボタンに変更。 アラーム検索ボタン、センサーアラーム履歴画面追加。</li> <li>・ 4. 1 ライブ映像表示画面 カメラ接続エラーアイコン追加。 自動切換ボタンコンテキストメニュー変更。</li> <li>・ 4. 4 センサーアラーム履歴画面 ファイル保存ボタン追加。</li> <li>・ 4. 5 マップ表示画面 カメラ状態表示変更。</li> <li>・ 4. 1 4. 1 起動表示設定 アラーム検索コンボボックス追加。</li> <li>・ 4. 1 4. 4 その他 メンテナンスボタン追加。</li> <li>・ 4. 1 5 ログ参照 ファイル保存ボタン追加。</li> </ul>
05	2015/01/08	<p>iNVRViewer Ver1.0.7.2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4. 1 4. 4 その他 アラーム表示コンボボックス、初期値ボタン追加。</li> </ul>
06	2015/07/31	<p>iNVRViewer Ver1.0.8.8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4. 1 4. 4 その他 カメラリスト設定、ログ設定（保存期間、クリーンアップ）追加。</li> </ul>
07	2016/02/05	<p>iNVRViewer Ver1.2.0.0</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4. 1 1 モザイク設定 追加</li> <li>・ 4. 1 5. 4 その他 モザイク追加。</li> </ul>
08	2016/07/06	<p>iNVRViewer Ver1.2.1.0</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動切換のパターンをツアーに変更。</li> </ul>
09	2016/10/11	<p>iNVRViewer Ver1.2.2.0</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4.4 アラーム履歴 アラーム検索、時刻検索、AVI 変換追加</li> <li>・ 4.15.4 その他 PTZ ボタン、故障通知追加</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4.17 故障通知画面</li> <li>4.17.1 故障発生画面追加</li> <li>4.17.2 故障情報画面追加</li> </ul>
10	2016/11/07	iNVRViewer Ver1.2.2.1 4.12 保存先設定 全てのカメラに適用追加
11	2017/01/06	iNVRViewer Ver1.2.3.0 4.15.4 その他変更 4.18 ジョイスティックコントローラボタン画面追加
12	2017/01/11	INR-2000/3000 と INR-3000SW の相違箇所を取説に追記。

## 目 次

1.	はじめに.....	1
2.	概 要.....	1
3.	画面フロー.....	2
4.	操作説明.....	3
4. 1	ライブ映像表示画面.....	3
4. 1.1	ビューメニュー.....	7
4. 2	再生映像表示画面.....	9
4. 3	サムネイル検索画面.....	12
4. 3.1	ダイジェスト再生.....	15
4. 4	センサーアラーム履歴画面.....	16
4. 5	マップ表示画面.....	20
4. 6	自動切換パターン登録画面.....	23
4. 7	P T Zコントロール画面.....	26
4. 8	A V Iファイル変換画面.....	29
4. 9	音声コントロール画面.....	31
4. 10	画質調整画面.....	32
4. 11	モザイク設定.....	34
4. 12	保存先設定.....	34
4. 13	電子ズーム.....	36
4. 14	映像表示方法.....	37
4. 14.1	左上のビューから順に表示(カメラリストをダブルクリック).....	37
4. 14.2	任意のビューに表示(カメラリストからドラッグ&ドロップ).....	38
4. 14.3	ビューの入れ替え(ビューのドラッグ&ドロップ).....	40
4. 15	画面設定(初期表示設定/その他).....	41
4. 15.1	起動表示設定.....	41
4. 15.2	タイトル表示設定.....	43
4. 15.3	ログイン.....	44
4. 15.4	その他.....	46
4. 16	ログ参照.....	47
4. 17	故障通知画面.....	49
4. 17.1	故障発生画面.....	49
4. 17.2	故障情報画面.....	50
4. 18	ジョイスティックコントローラボタン登録画面.....	51
4. 19	アプリケーションの終了.....	54

## 1. はじめに

本書は、INR-2000/3000 のビューア INR-3000SW の操作説明書です。

**※INR-3000 本体に INR-3000SW をインストールしないで下さい。**

(設定ファイルが上書きされレコーダが動作しない恐れがあります。)

## 2. 概要

本ビューアにて、以下の操作が行えます。

- ・ ライブ映像表示 (1/4/6/8/9/10/12/13/16/20/25/32/36/49/64 画面) ※1
- ・ ライブ映像の自動切換表示 (カメラ順、ツアーのパターン順)
- ・ 再生映像表示 (同時再生最大 4 画面)
- ・ ライブ/再生映像のストレッチ表示、全画面表示、電子ズーム、スナップショット、画質調整
- ・ ライブ/再生の音声出力 (選択した 1 画面のみ)
- ・ カメラ PTZ 操作 (パン、チルト、ズーム、フォーカス、照明、ワイパ、プリセット、USB ジョイスティック対応)
- ・ 録画検索 (時間検索、サムネイル検索、ダイジェスト再生) ※2
- ・ 5 分前再生
- ・ 再生制御 (再生、逆再生、早送り、早戻し、停止、一時停止、コマ送り、コマ戻し)
- ・ 録画映像および音声の AVI 変換
- ・ マップ表示 (地図上にカメラの配置を表示、状態表示) 最大 1024 枚
- ・ アラーム検索 (日付/時刻検索、カメラ/センサー検索、アラーム/センサー検索、アラーム再生) ※3
- ・ パターン登録数 100 個
- ・ ツアー登録数 50 個
- ・ カメラ登録最大登録数 1024 台
- ・ センサーアラーム検知カメラの優先表示 (アラーム鳴動、メッセージ表示) ※4
- ・ 分割画面数の閾値でストリーム変更※3
- ・ ログ表示 (アプリケーション、アラーム、操作、通信、表示 DLL)

※1 : NVR の最大カメラ接続数は 32 台。NVR を複数にすることでカメラ台数を増設できます。

INR-2000 (スタンドアロン) のビューアは最大 9/16 画面になります。

※2 : システム構成 (INR-3000) でクライアント PC からレコーダのデータドライブが共有設定されている場合。

※3 : 各種センサーをレコーダの I/F に接続した場合、もしくは、動作検知録画をしている場合。

※4 : システム構成 (INR-3000) でクライアント PC がカメラから直接配信を受ける場合。

### 3. 画面フロー

デスクトップ上の「iNVRViewer」アイコンをダブルクリックするとビューアが起動します。ビューアの画面は、以下のように遷移します。

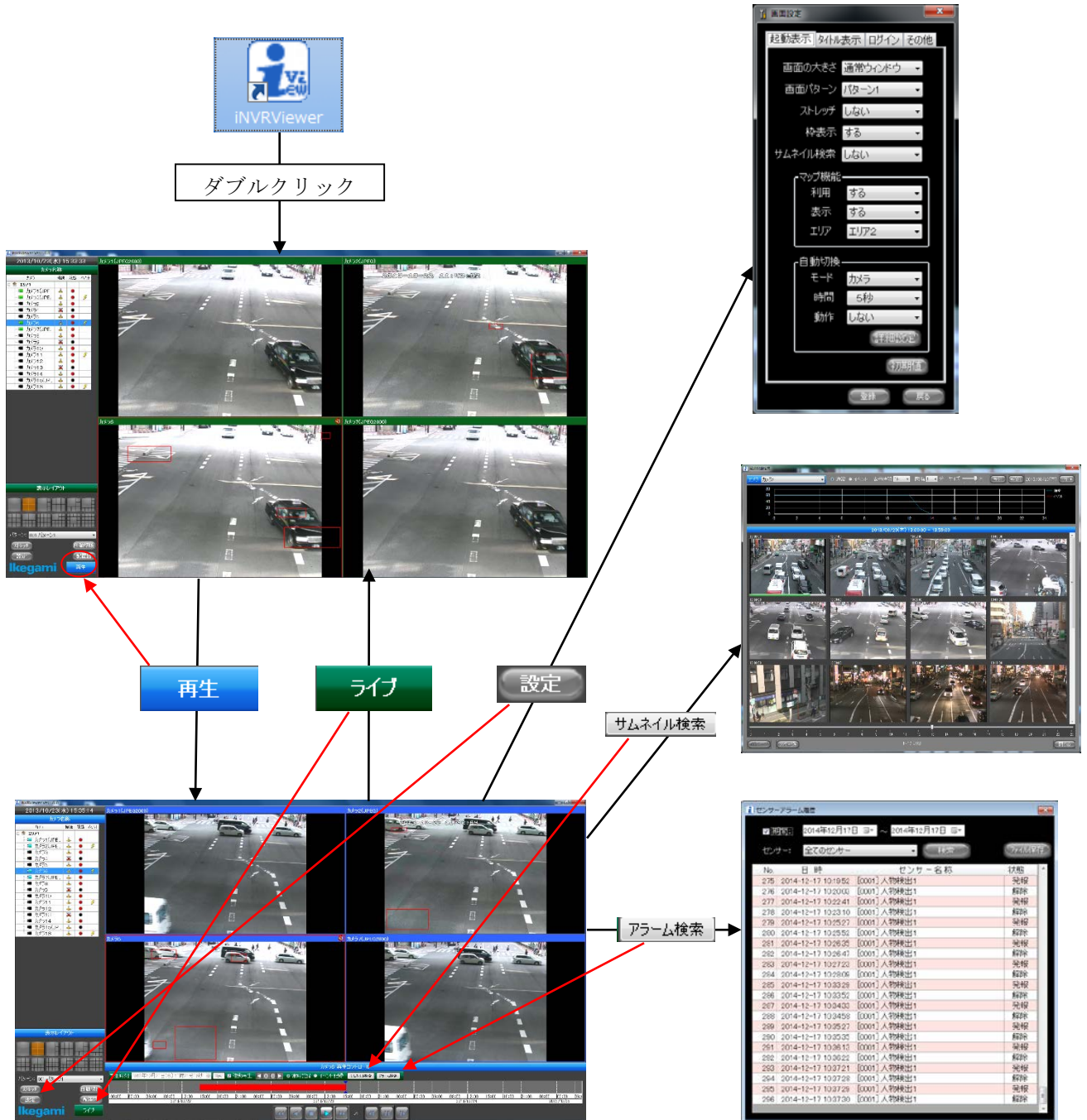


図3 画面フロー

## 4. 操作説明

### 4. 1 ライブ映像表示画面

起動するとライブ映像表示画面（図 4. 1）が表示されます。また、再生映像表示画面（図 4. 2）で「ライブ」ボタンをクリックすると表示されます。

この画面では、ライブ映像表示などの以下の操作ができます。

- ・ ライブ映像表示（1/4/6/8/9/10/12/13/16/20/25/32/36/49/64 画面）※ 1
- ・ 自動切換表示（カメラ順、ツアーのパターン順）
- ・ ストレッチ表示、全画面表示、電子ズーム、スナップショット、画質調整
- ・ 音声出力（選択した 1 画面のみ）
- ・ カメラ PTZ 操作
- ・ 全画面表示
- ・ ライブ映像一時停止
- ・ 電子ズーム
- ・ 5 分前再生
- ・ 画質調整
- ・ 録画映像および音声の AVI 変換
- ・ マップ表示画面の表示／非表示



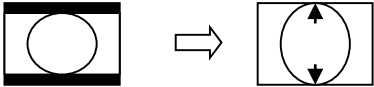
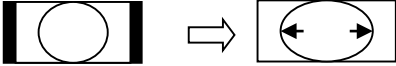

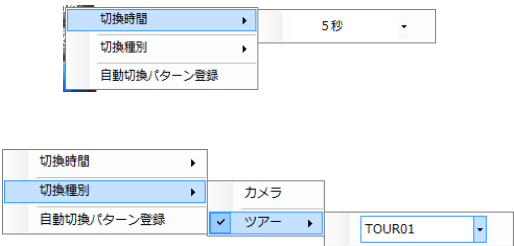

※ 1 : INR-2000（スタンドアロン）のビューアは最大 9/16 画面になります。

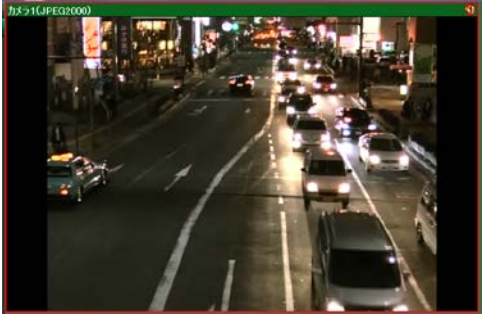




図 4. 1 ライブ映像表示画面

名 称	説 明																
<p>カメラリスト</p> 	<p>カメラ名称、接続状態、記録状態、イベント発生状態が表示されます。</p> <p>セルをダブルクリックすると、そのカメラの映像が左上から順に空いているビューに表示されます。</p> <p>セルをビューにドラック&amp;ドロップすることで、任意のビューに映像を表示することもできます。</p> <p>選択しているカメラは、セルが青色になります。</p> <p>故障発生中はカメラリストのラベルが赤く点滅します。</p> <p>故障中のカメラはアイコンの左上に×印が付きます。</p> <p>・アイコン説明</p> <table border="0"> <tr> <td> 設置場所</td> <td> 接続中</td> </tr> <tr> <td> ライブ表示</td> <td> ライブ表示 (故障中)</td> </tr> <tr> <td> 再生表示</td> <td> 再生表示 (故障中)</td> </tr> <tr> <td> 非表示</td> <td> 非表示 (故障中)</td> </tr> <tr> <td> 接続エラー</td> <td> 接続エラー (故障中)</td> </tr> <tr> <td> 設置場所</td> <td> イベント</td> </tr> <tr> <td> 接続中</td> <td> 切断</td> </tr> <tr> <td> 録画中</td> <td> 録画停止</td> </tr> </table>	設置場所	接続中	ライブ表示	ライブ表示 (故障中)	再生表示	再生表示 (故障中)	非表示	非表示 (故障中)	接続エラー	接続エラー (故障中)	設置場所	イベント	接続中	切断	録画中	録画停止
設置場所	接続中																
ライブ表示	ライブ表示 (故障中)																
再生表示	再生表示 (故障中)																
非表示	非表示 (故障中)																
接続エラー	接続エラー (故障中)																
設置場所	イベント																
接続中	切断																
録画中	録画停止																
<p>画面レイアウト選択ボタン</p> 	<p>ボタンの画面レイアウトで映像が表示されます。選択中のボタンは橙色になります。</p> <p>最大 64 分割画面の表示ができます。</p> <p>※各カメラの記録が 30fps のとき、1～9 画面は 30fps で表示されますが、10～13 画面では 15fps 表示に、16 画面では 10fps 表示に間引き表示されます。</p>																
<p>パターンコンボボックス</p> 	<p>クリックするとパターンリストが表示され、リストから選択したパターンで映像が表示されます。</p> <p>右クリックメニューで「パターン登録」を選択すると下記のパターン登録画面が表示され、現在の表示状態（画面数とカメラの割り付け）をパターン登録できます。</p>																



名 称	説 明
<p>パターン登録画面</p> 	<p>登録先を選択し、パターン名を入力して「登録」ボタンをクリックすると、現在の表示状態（画面数とカメラの割り付け）が登録されます。最大20個のパターンを登録できます。</p> <p>「キャンセル」ボタンをクリックすると本画面が閉じます。</p>
<p>ストレッチボタン</p>  <p>ビューが縦長のとき</p>  <p>ビューが横長のとき</p> 	<p>クリックすると、カメラのアスペクト比に関係なくビューのサイズ一杯に映像を伸縮表示します。もう一度クリックすると、元の表示に戻ります。</p> <p>ストレッチ ON 時、ボタンは青色になります。</p> <p>※ストレッチ ON にすると縦または横に引き伸ばされた映像になりますので、1画面表示では不自然さが目立つ映像になります。多画面表示向きです。</p>
<p>自動切換ボタン</p>  	<p>クリックすると、カメラツリー順またはパターン順で自動切換表示します。もう一度クリックすると、切換が止まります。自動切換 ON 時、ボタンは青色になります。</p> <p>ボタンを右クリックするとメニューが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切換時間：自動切換の間隔を設定できます。              切換時間はコンボボックスから 5,10,15,20,25,30,45,60,120,180 秒に設定できます。</li> <li>・切換種別：自動切換を行う種類を設定します。              カメラまたはツアーをチェックすることで設定できます。（デフォルトの設定が違っている場合は、確認のダイアログが表示されます。デフォルトにすると再立ち上げ時にその種別になります。）              ツアーの次のコンボボックスから目的のツアーを選択できます。</li> <li>・自動切換パターン登録：自動切換パターン登録画面（図 4. 6）が表示され、自動切換で表示カメラ/パターンを設定できます。</li> </ul>
<p>表示モード切換ボタン</p> 	<p>ライブ映像表示画面では「再生」（青色）と表示され、クリックすると、再生映像表示画面（図 4. 2）になります。</p> <p>再生映像表示画面では「ライブ」（緑色）と表示され、クリックすると、ライブ映像表示画面（図 4. 1）になります。</p>

名 称	説 明
<p>ビュー</p> 	<p>ライブ映像／再生映像が表示されます。タイトルバーの色が青色のときはライブ映像、緑色のときは再生映像です。選択中のビューには赤枠が表示されます。</p> <p>ビューをドラッグして別のビューにドロップすることで、ビューの位置を入れ替えることができます。</p> <p>多画面表示のときにビューをダブルクリックすると、そのビューの1画面表示になります。もう一度ダブルクリックすると、元の多画面表示に戻ります。</p>
<p>音声アイコン</p> 	<p>音声（マイク）があるカメラで、ビューのタイトルバーの右端に音声アイコンが表示されます。</p> <p>クリックすると、音声は ON/OFF します。</p> <p>ダブルクリックすると、音声コントロール画面（図4.9）が表示され、音量を調整できます。</p>
<p>マップ表示ボタン</p> 	<p>クリックするとマップ表示画面（図4.5）の表示／非表示ができます。（※モニタが2台以上接続されている場合、セカンダリモニタに表示されます。モニタが1台の場合、ビューの下に表示する場合があります。）</p>

4. 1.1 ビューメニュー

ビューを右クリックするとビューメニュー（図4. 1. 1）が表示され、様々な操作ができます。

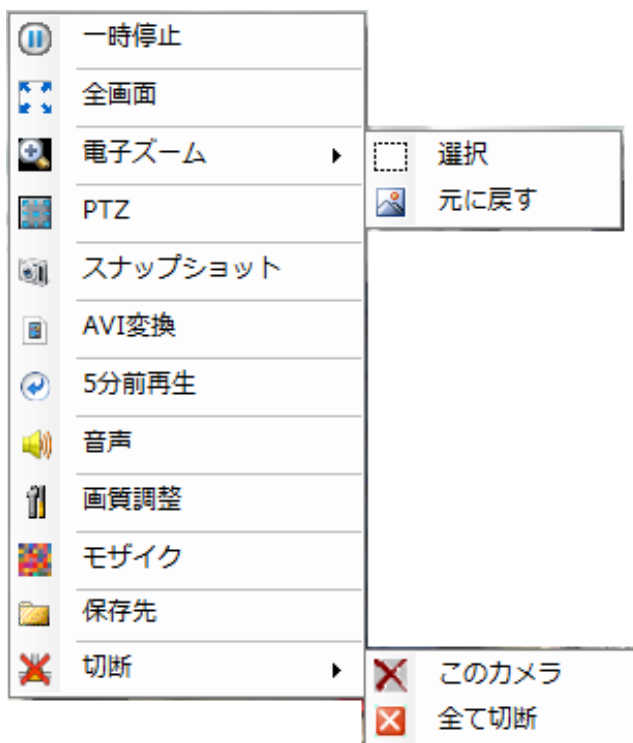



図4. 1. 1 ビューメニュー

- **一時停止**：ライブ映像表示中のとき、このメニューが表示されます。再生中は表示されません。  
 ライブ映像が一時停止し、映像右上に  が表示されます。  
 一時停止中の場合は、一時停止が解除されます。
- **全画面**：通常のウィンドウ画面表示から、映像のみの全画面表示になります。全画面表示中はメニューが「ウィンドウ画面」になり、全画面表示からウィンドウ画面表示に戻ります。
- **電子ズーム**：電子ズームメニューを表示します。
  - ・ **選択**：拡大させたい領域の始点と終点をマウスで指定して電子ズームできます。
  - ・ **元に戻す**：電子ズームした表示領域を元に戻します。
- **PTZ**：パンチルト・レンズ等が操作できるカメラのとき、このメニューが表示されます。  
 PTZ コントロール画面（図4. 7）が表示され、カメラを操作できます。
- **スナップショット**：現在のビューの映像が、JPEG 画像として保存されます。「保存先設定」で設定したフォルダに、以下のファイル名で保存されます。  
 「YYYYMMDD\_HHMMSS\_カメラ名称\_Live.jpg」  
 例) 2013/3/1 01:23:45 「Camera01」の映像の場合  
 20130301\_012345\_Camera01\_Live.jpg
- **AVI 変換**：AVI ファイル変換画面（図4. 8）が表示され、録画映像および音声を AVI ファイルに変換できます。
- **5分前再生**：現在時刻から5分前の映像が再生されます。  
 再生映像表示画面になり、多画面表示は解除されて1画面表示になります。

- **音声**：音声（マイク）があるカメラのとき、このメニューが表示されます。  
音声コントロール画面（図 4. 9）が表示され、音量を調整できます。（カメラ登録で音声設定がされている場合）
- **画質調整**：画質調整画面（図 4. 10）が表示され、画質をカメラ毎に調整できます。
- **モザイク**：モザイク設定画面（図 4. 11）が表示され、モザイクをカメラ毎に調整できます。（全てのカメラ設定を行うことも可能）  
※モザイク設定が有効（図 4. 15. 4 その他タブのモザイクにチェックが入っています）の場合。
- **保存先**：保存先設定画面（図 4. 12）が表示され、スナップショットおよび AVI 変換ファイルの保存先をカメラ毎に設定できます。
- **切断**：切断メニューを表示します。
  - **このカメラ**：選択カメラを切断します。
  - **全て切断**：全ての表示カメラを切断します。  
※表示が停止するだけで、録画は停止しません。

#### 4. 2 再生映像表示画面

ライブ映像表示画面（図4. 1）で「再生」ボタンをクリックすると、再生映像表示画面（図4. 2）が表示されます。

この画面では、再生映像表示など以下の操作ができます。




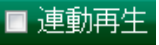






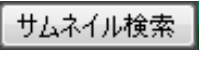
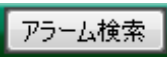
- ・ ライブ映像表示（1/4/6/8/9/10/12/13/16/20/25/32/36/49/64画面）※1
- ・ 再生映像表示（同時再生最大4画面）
- ・ ストレッチ表示、全画面表示、電子ズーム、スナップショット、画質調整
- ・ 音声出力（選択した1画面のみ）
- ・ 全画面表示
- ・ 電子ズーム
- ・ 画質調整
- ・ 録画検索（時間検索、サムネイル検索、アラーム検索）
- ・ ダイジェスト再生
- ・ 再生制御（再生、逆再生、早送り、早戻し、停止、一時停止、コマ送り、コマ戻し）
- ・ 録画映像および音声の AVI 変換
- ・ マップ表示画面の表示/非表示

※1：INR-2000（スタンドアロン）のビューアは最大9/16画面になります。



図4. 2 再生映像表示画面

再生映像表示画面では、ビューの下部に再生コントロールが表示されます。再生コントロール以外の表示および機能は、ライブ映像表示画面（図4. 1）と同じです。以下では、再生コントロールの表示およびボタン機能について説明します。

名 称	説 明
<p>録画バー</p> 	<p>録画されている時間帯が、赤色のバーで表示されます。録画バー上の青色の縦ラインは、再生開始時刻を示します。赤色のバーの部分をクリックすると、再生開始時刻がその位置の時刻になります。</p> <p>日付または時間の部分をクリックしながら左右にマウスを動かすと、表示が左右にスクロールします。また、左ボタンをダブルクリックすると表示目盛が拡大し、右ボタンをダブルクリックすると表示目盛が縮小します。</p>
<p>開始時刻／再生時刻</p> 	<p>再生停止中は「開始時刻」と表示され、再生開始時刻を設定できます。初期設定時刻は、現在時刻の5分前の時刻です。</p> <p>再生中は「再生時刻」と表示され、再生中の録画時刻が表示されます。</p>
<p>現在時刻ボタン</p> 	<p>再生開始時刻を現在の時刻に設定します。</p>
<p>連動再生チェックボックス</p> 	<p>4画面のとき表示されます。</p> <p>連動再生をチェックすると、4画面が同時再生します。</p>
<p>録画バー表示コントロール</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li> 録画バーの表示目盛が拡大します。</li> <li> 録画バーの表示目盛が縮小します。</li> <li> 録画バーの表示が左スクロールします。</li> <li> 録画バーの表示が右スクロールします。</li> </ul>
<p>記録データ選択ボタン</p> 	<p>録画バーに表示する記録データ種別を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常時記録：常時記録のデータが表示されます。</li> <li>・イベント記録：アラーム検出、動き検出等のイベント記録のデータが表示されます。</li> </ul>
<p>サムネイル検索ボタン</p> 	<p>サムネイル検索画面（図4. 3）が表示されます。</p> <p>※クライアントPCからサムネイル検索を行う場合、データが保存されているドライブを共有設定にし、エクスプローラからレコーダPCにアクセスし資格情報を保存しておいて下さい。</p>
<p>アラーム検索ボタン</p> 	<p>センサーアラーム履歴画面（図4. 4）が表示されます。</p> <p>※レコーダPCが2台以上ある場合はSQL Server Managerで相互のリンクサーバー設定を行ってください。</p>

名 称	説 明
再生ボタン 	開始日時から録画データの再生を開始します。 再生停止中は、本ボタンのみ有効です。 再生を開始すると、「コマ送り」、「コマ戻し」を除く再生操作が可能となります。
再生停止ボタン 	再生を停止します。 再生停止中は「再生」ボタンのみ有効となります。
逆再生ボタン 	再生中または一時停止中にクリックすると、逆再生を開始します。
早送りボタン 	再生中または一時停止中にクリックすると、早送り再生します。 クリックする度に早送り速度が2倍速→5倍速→10倍速→30倍速→60倍速→2倍速・・・と変わります。
早戻しボタン 	再生中または一時停止中にクリックすると、早戻し再生します。 クリックする度に早戻し速度が2倍速→5倍速→10倍速→30倍速→60倍速→2倍速・・・と変わります。
一時停止ボタン 	再生中にクリックすると、再生を一時停止します。 一時停止中は、「コマ送り」、「コマ戻し」の操作が可能となります。 一時停止中にクリックすると、再生を再開します。
コマ送りボタン 	一時停止中にクリックすると、次のフレームの録画映像が表示されます。 <b>※逆再生／早戻し中に一時停止した直後、またはコマ戻しした後にコマ送りしたとき、最初の1コマは逆方向の録画映像が表示されます。</b>
コマ戻しボタン 	一時停止中にクリックすると、前の基準フレームの録画映像が表示されます。 <b>※再生／早送り中に一時停止した直後、またはコマ送りした後にコマ戻ししたとき、最初の1コマは順方向の録画映像が表示されます。</b>



#### 4. 3 サムネイル検索画面

再生映像表示画面（図4. 2）の「検索」ボタンをクリックすると、サムネイル検索画面（図4. 3）が表示されます。

本画面では、サムネイルから目的の録画映像を検索することができます。サムネイルは、通常記録では1分毎に作成され、イベント記録ではイベント毎に作成されます。マウスをサムネイル上に移動すると、通常記録では次のサムネイルまでの録画を、イベント記録ではイベント発生時の録画を、ダイジェスト再生（サムネイルの大きさに合わせて早送り再生）します。このダイジェスト再生機能により、目的の映像を素早く見つけることができます。

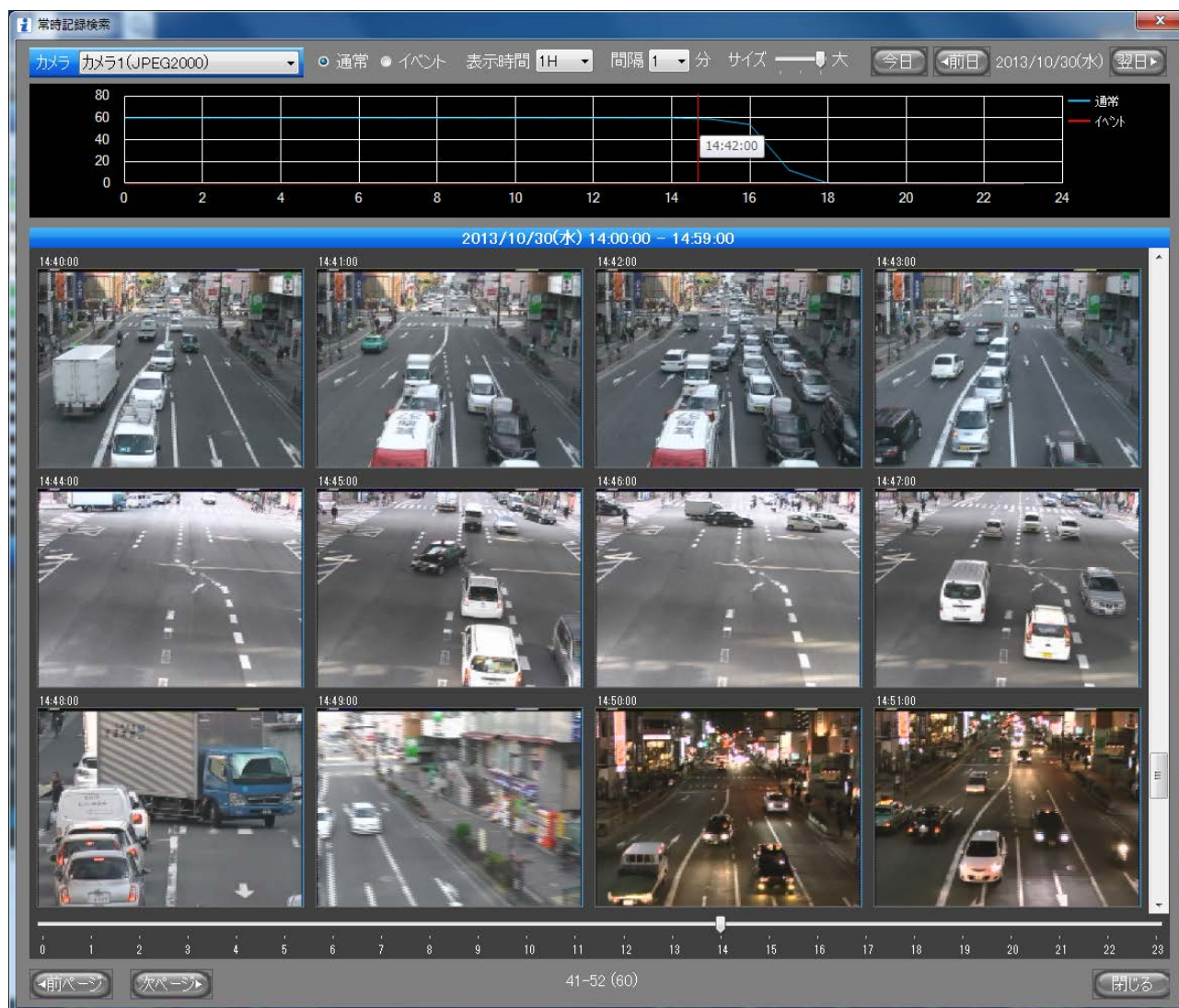
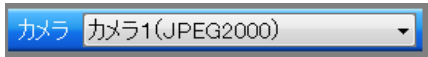











図4. 3 サムネイル検索画面

※INR-3000SW でクライアントから行う場合は、INR-2000/3000 レコーダーの D ドライブを共有名 D で共有設定してください。ネットワーク環境によってはサムネイルの表示やダイジェスト再生に時間が掛かる場合があります。



名 称	説 明
カメラ切替コンボボックス 	サムネイルを表示するカメラを切り換えることができます。
録画選択ボタン 	サムネイル表示する録画データの種類を、通常またはイベントから選択します。
表示時間コンボボックス 	サムネイルを何時間分表示させるか設定します。 1H、2H、3H、4H、6H、12H、24H から選択します。
間隔コンボボックス 	サムネイルの表示間隔を設定します。 イベント録画のときは無効です。 1、2、3、5、10、15、30、60 分から選択します。
サイズ変更バー 	サムネイルのサイズが小、中、大に変わります。 小：1 行に 10 個サムネイルが表示されます。 中：1 行に 6 個のサムネイルが表示されます。 大：1 行に 4 個のサムネイルが表示されます。
今日ボタン 	表示データの日付を今日に設定します。
前日ボタン 	表示データの日付を前日に設定します。
翌日ボタン 	表示データの日付を翌日に設定します。
表示データ日付 	表示データの日付です。 クリックすると下記の録画検索カレンダーが表示されます。
録画検索画面 	表示データ日付をクリックすると録画検索カレンダーが表示されます。 録画データがある日は、黄色で表示されます。 黄色の日付をダブルクリックすると、表示データ日付がその日になります。

名 称	説 明
<p>サムネイル数グラフ</p> 	<p>サムネイルの時間毎の数をグラフで表示します。 通常記録は青色のグラフ、イベント記録は赤色のグラフで表示されます。 グラフ上にマウスを移動すると時間の目安が表示され、クリックするとサムネイルの表示開始時間がその時間になります。</p>
<p>表示時間帯</p> <p>2013/10/30(水) 14:00:00 - 14:59:00</p>	<p>表示されているサムネイルの時間帯です。</p>
<p>サムネイルビュー</p> 	<p>サムネイルが表示されます。画面左上にサムネイルが作成された時刻が表示されます。 マウスをサムネイル上に移動すると、ダイジェスト再生（図4. 3. 1）が開始します。 サムネイルをダブルクリックすると、その時刻から再生を開始します。</p>
<p>表示時刻トラックバー</p> 	<p>サムネイルを表示する時刻をバーで変更できます。</p>
<p>全ページボタン</p> 	<p>サムネイルが1ページ以上あるとき、前のページのサムネイルが表示されます。 前のページが無い場合は無効です。</p>
<p>次ページボタン</p> 	<p>サムネイルが1ページ以上あるとき、次のページのサムネイルが表示されます。 次のページが無い場合は無効です。</p>
<p>閉じるボタン</p> 	<p>サムネイル検索画面を閉じます。</p>
<p>サムネイル位置表示</p> <p>41-52 (60)</p>	<p>表示しているサムネイルの番号(合计数)が表示されます。 左の例では、60 枚中 41 枚目から 52 枚目を表示していることを表します。</p>

#### 4. 3.1 ダイジェスト再生

サムネイル検索画面（図4. 3）にて、任意のサムネイル上にマウスを移動すると、ダイジェスト再生（図4. 3. 1）が開始します。

ダイジェスト再生中は、左上に再生時刻が表示され、下に再生プログレスバーが表示されます。











図4. 3. 1 ダイジェスト再生

#### 4. 4 センサーアラーム履歴画面

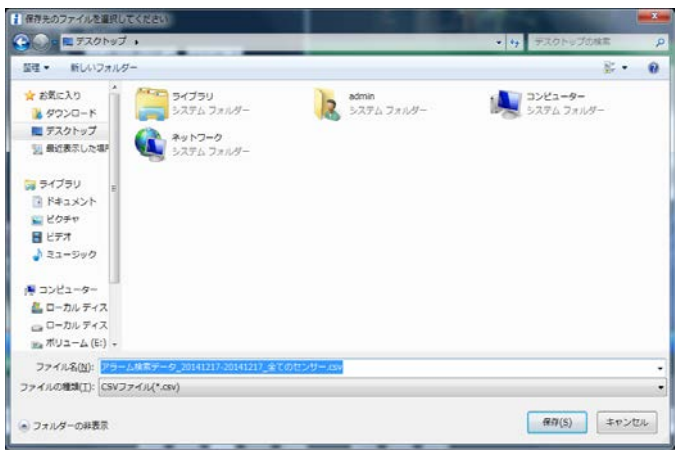
再生映像表示画面（図4. 2）にてアラーム検索ボタンを押下すると、アラーム履歴画面が表示されます。アラーム（接点+動き検出）とセンサーのデータを選択することができます。



図4. 4 アラーム履歴画面

名 称	説 明
<p>データ選択ラジオボタン</p> 	<p>検索対象データ。アラームまたはセンサーを選択します。</p>
<p>日付チェックボックス</p> 	<p>日付指定で検索するときにはチェックします。(デフォルトON)</p>
<p>日付指定カレンダー</p> 	<p>日付指定するときの開始日と終了日を指定します。</p>
<p>時刻チェックボックス</p> 	<p>時刻指定で検索するときにはチェックします。(デフォルトOFF)</p>
<p>時刻指定ボックス</p> 	<p>時刻指定するときの開始時間と終了時間を指定します。</p>
<p>対象データ選択コンボボックス</p> 	<p>アラーム検索のときは、全てのカメラ/各カメラを選択します。(デフォルトは全てのカメラ)</p> <p>センサー検索のときは、全てのセンサー/各センサーを選択します。(デフォルトは全てのセンサー)</p>
<p>検索ボタン</p> 	<p>条件に一致したデータの検索を開始するボタン。検索条件に一致したものがあればデータグリッドにデータが表示されます。</p>
<p>AVI 保存ボタン</p> 	<p>データグリッドで選択したデータをAVIに保存します。アラームデータは複数選択したものを連続して保存することができます。</p> <p>ファイル名は開始日_開始時間-終了日_終了時間_カメラ名称.avi のように下記の形式で保存されます。</p> <p>「YYYYMMDD_HHMMSS-</p>

	<p>YYYYMMDD_HHMMSS_ カ メラ名.avi」</p> <p>※一時間を越えるデータは 一時間毎に分割保存されます。 検索条件をチェックしている 場合、検索条件の範囲でデータ が保存されます。</p>
<p>ファイル保存ボタン</p> 	<p>データグリッドに表示され たデータを CSV 形式でファイル に保存します。</p>

名 称	説 明																																				
<p style="text-align: center;">保存先ファイル指定画面</p> 	<p>CSV ファイルの保存先とファイル名が変更できます。                  デフォルトの保存先はデスクトップになっています。                  ファイル名は、検索条件によって異なりますが、以下のファイル名がデフォルトで付きます。                  「アラーム検索データ_検索開始年月日-検索終了年月日_センサー名.csv」                  例 ) 期 間 : 2014/12/17 ~ 2014/12/17                  センサー : 全てのセンサーの場合                  アラーム検索データ_20141217-20141217_全てのデータ.csv                  「保存」ボタンをクリックすると、CSV形式ファイルを保存します。</p>																																				
<p style="text-align: center;">センサーアラームデータグリッド</p> <table border="1" data-bbox="167 1254 1021 1534"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>日 時</th> <th>センサー名称</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>275</td> <td>2014-12-17 10:19:52</td> <td>[0001] 人物検出1</td> <td>発報</td> </tr> <tr> <td>276</td> <td>2014-12-17 10:20:03</td> <td>[0001] 人物検出1</td> <td>解除</td> </tr> <tr> <td>277</td> <td>2014-12-17 10:22:41</td> <td>[0001] 人物検出1</td> <td>発報</td> </tr> <tr> <td>278</td> <td>2014-12-17 10:23:10</td> <td>[0001] 人物検出1</td> <td>解除</td> </tr> <tr> <td>279</td> <td>2014-12-17 10:25:27</td> <td>[0001] 人物検出1</td> <td>発報</td> </tr> <tr> <td>280</td> <td>2014-12-17 10:25:52</td> <td>[0001] 人物検出1</td> <td>解除</td> </tr> <tr> <td>281</td> <td>2014-12-17 10:26:35</td> <td>[0001] 人物検出1</td> <td>発報</td> </tr> <tr> <td>282</td> <td>2014-12-17 10:26:47</td> <td>[0001] 人物検出1</td> <td>解除</td> </tr> </tbody> </table>	No.	日 時	センサー名称	状態	275	2014-12-17 10:19:52	[0001] 人物検出1	発報	276	2014-12-17 10:20:03	[0001] 人物検出1	解除	277	2014-12-17 10:22:41	[0001] 人物検出1	発報	278	2014-12-17 10:23:10	[0001] 人物検出1	解除	279	2014-12-17 10:25:27	[0001] 人物検出1	発報	280	2014-12-17 10:25:52	[0001] 人物検出1	解除	281	2014-12-17 10:26:35	[0001] 人物検出1	発報	282	2014-12-17 10:26:47	[0001] 人物検出1	解除	<p>センサーアラーム検索条件に一致したセンサーアラーム情報が表示されます。                  行をダブルクリックすると日時の5秒前から再生を開始します。(アラーム発報時間は赤色で表示。)</p>
No.	日 時	センサー名称	状態																																		
275	2014-12-17 10:19:52	[0001] 人物検出1	発報																																		
276	2014-12-17 10:20:03	[0001] 人物検出1	解除																																		
277	2014-12-17 10:22:41	[0001] 人物検出1	発報																																		
278	2014-12-17 10:23:10	[0001] 人物検出1	解除																																		
279	2014-12-17 10:25:27	[0001] 人物検出1	発報																																		
280	2014-12-17 10:25:52	[0001] 人物検出1	解除																																		
281	2014-12-17 10:26:35	[0001] 人物検出1	発報																																		
282	2014-12-17 10:26:47	[0001] 人物検出1	解除																																		



#### 4. 5 マップ表示画面

ライブ映像表示画面（図4. 1）または、再生映像表示画面（図4. 2）にて、配置図ボタンを押下すると、マップ表示画面（図4. 5）が表示されます。

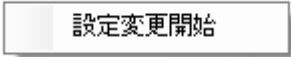
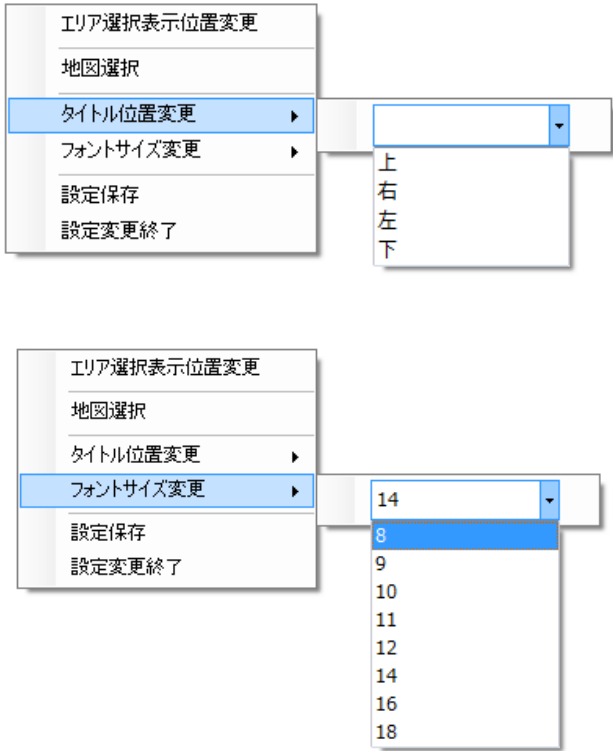
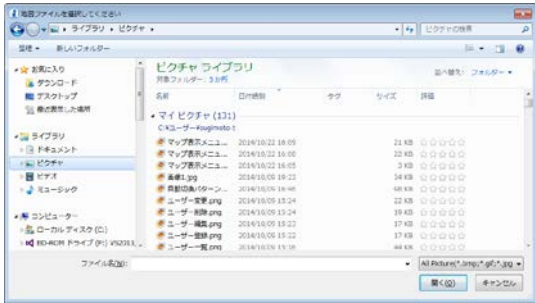
通常モードではカメラの状態によりカメラアイコンの色が随時変更され、カメラアイコンをダブルクリックすると、ビューワーに単画面表示させることができます。また、設定変更モードにして配置図の設定やカメラを選択して配置やタイトル位置／サイズ、アイコンの変更をすることができます。


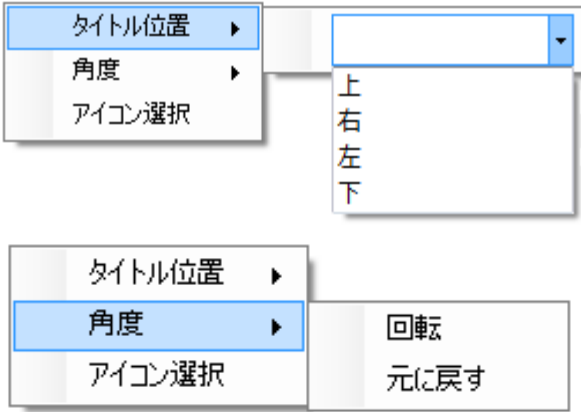



図4. 5 マップ表示画面

名称	説明
<p>エリア選択ツリー</p> 	<p>表示するエリアを選択すると、それとともないマップ表示が更新されます。また、カメラノードをダブルクリックすると、ビューワーを単画面でそのカメラの映像に切替えます。設定変更モードのときは、カメラノードをクリックして地図上のカメラを選択することができます。状態によりカメラの色が変更されます。</p> <p>通常：水色（通常／設定変更モード）                  選択：黄色（設定変更モード）                  ライブ：緑色（通常モード）                  再生：青色（通常モード）                  エラー：赤色（通常モード）</p>



名 称	説 明
<p>設定変更開始メニュー（通常モード）</p>  <p>&lt;&lt; 設定変更モード &gt;&gt;    未選択   選択</p>	<p>通常モードのとき、マップ上で右クリックすると、設定変更開始のメニューが表示されます。これを選択すると設定変更モードに切替えます。</p> <p>これに伴い右上のモード表示が設定変更モードに切り替わります。</p>
<p>設定変更メニュー（設定変更モード）</p> 	<p>設定変更モードのとき、マップ上で右クリックすると、設定変更メニューが表示されます。</p> <p><b>エリア選択表示位置変更：</b>エリア選択ツリーを左または右に変更します。</p> <p><b>地図選択：</b>地図ファイル選択画面を表示します。</p> <p><b>タイトル位置変更：</b>表示エリアの全てのカメラのタイトル位置を変更します。</p> <p>右に表示されたコンボボックスから上／右／左／下を選択します。</p> <p><b>フォントサイズ変更：</b>タイトルの表示フォントサイズを変更します。</p> <p>右に表示されたコンボボックスから8, 9, 10, 11, 12, 14, 16, 18 から選択します。</p> <p><b>設定保存：</b>XML ファイルにマップ設定情報を出力します。</p> <p><b>設定変更終了：</b>設定変更モードを終了します。設定を変更した場合は設定保存のダイアログを表示します。</p>
<p>地図ファイル選択画面</p> 	<p>設定変更メニューから地図選択をクリックすると、地図ファイル選択画面が表示されます。</p> <p>この画面から任意のグラフィックファイル形式のファイルを選択できます。</p> <p>(BMP、GIF、JPEG、EXIF、PNG、TIFFに対応)</p>

名 称	説 明
<p style="text-align: center;">マップカメラ編集</p> <p style="text-align: center;"><b>カメラ7(IEN-10)</b></p> 	<p>設定変更モードのとき、カメラアイコンをクリックして、カメラを選択(黄色)することができます。</p> <p>カメラアイコンをドラッグ&amp;ドロップするとタイトルと一緒に位置を移動させることができます。</p> <p>タイトルテキストをドラッグ&amp;ドロップするとタイトルの位置を移動させることができます。</p>
<p style="text-align: center;">マップカメラメニュー</p> 	<p>設定変更モードのとき、選択されたカメラ(黄色)上で右クリックすると、マップカメラメニューが表示され、このカメラの表示設定を変更できます。</p> <p><b>タイトル位置:</b>カメラのタイトル位置を変更します。</p> <p>右に表示されたコンボボックスから上/右/左/下を選択します。</p> <p><b>角度:</b>カメラアイコンの角度を調節します。</p> <p>回転:カメラの周りをマウスで角度調整します。クリックすると確定します。</p> <p>元に戻す:カメラアイコンの角度を初期値(水平)に戻します。</p> <p><b>アイコン選択:</b>アイコン選択画面を表示します。</p>
<p style="text-align: center;">アイコン選択画面</p> 	<p>マップカメラメニューからアイコン選択をクリックするとアイコン選択画面が表示されます。この4種類のアイコンを任意に選択し、カメラアイコンの表示を変更することができます。</p>

#### 4. 6 自動切換パターン登録画面

ライブ映像表示画面（図4. 1）または再生映像表示画面（図4. 2）にて、自動切換ボタンの右クリックメニューから「自動切換パターン登録」を選択すると、自動切換パターン登録画面（図4. 6）が表示されます。

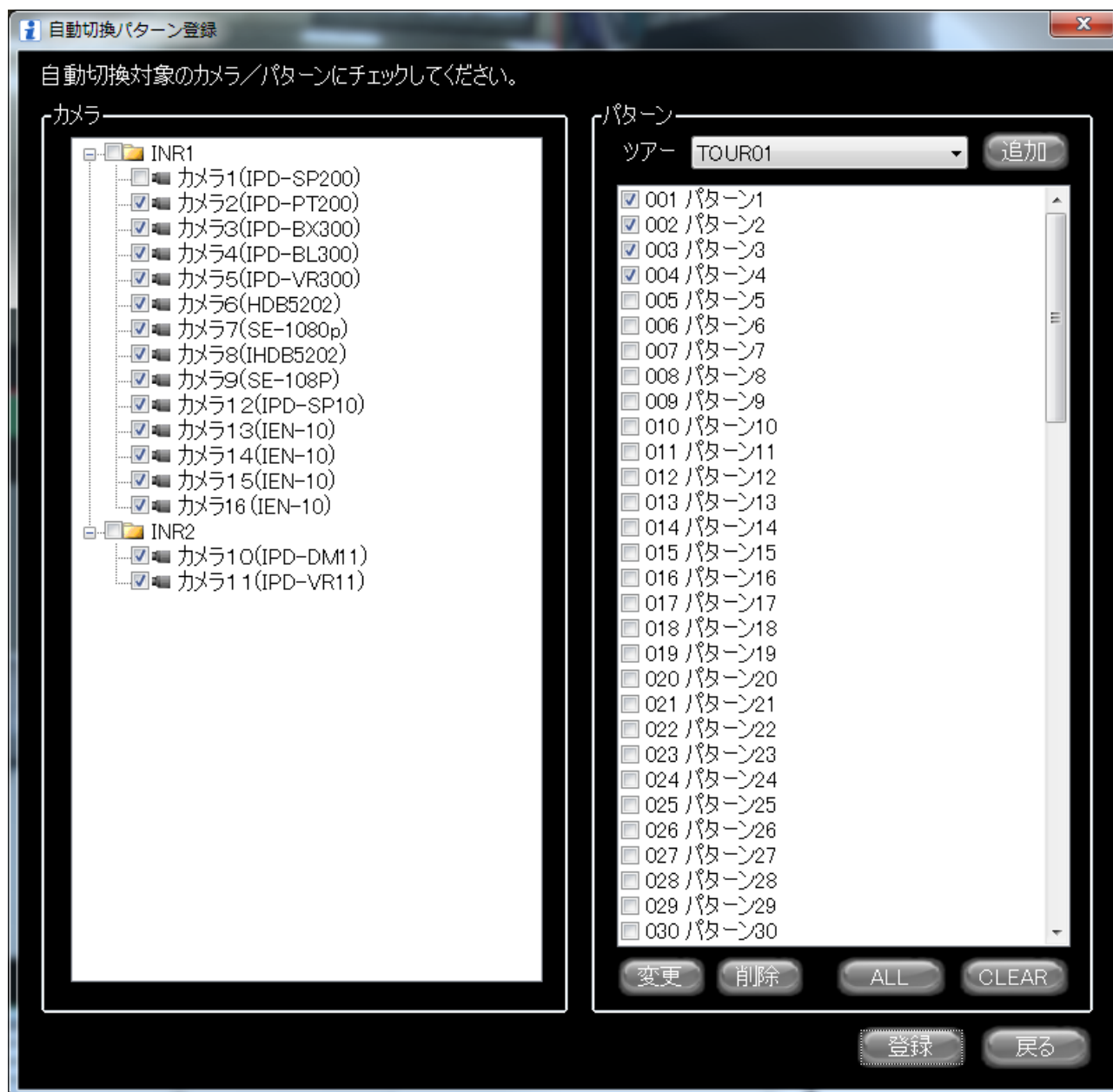
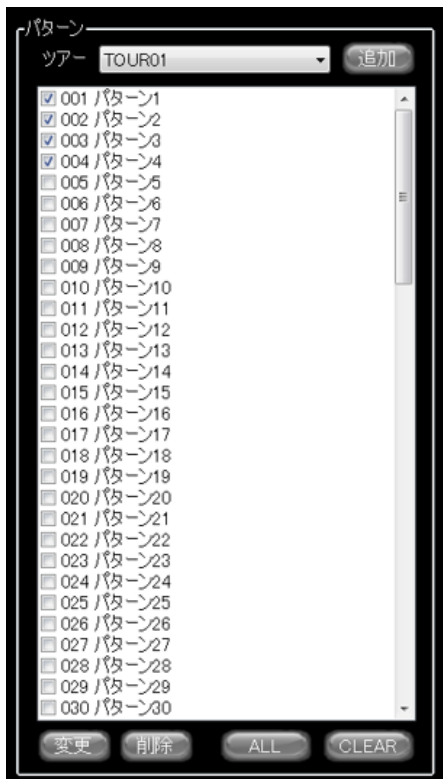

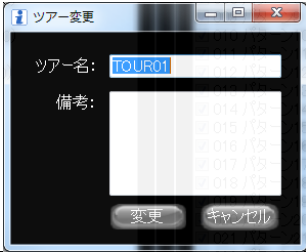




図4. 6 自動切換パターン登録画面

名 称	説 明
<p>単画面カメラツリー</p> 	<p>自動切換をカメラツリー順で行うときに、自動切換表示するカメラを選択します。</p> <p>チェックしたカメラのみが自動切換表示されます。</p>
<p>多画面チェックボックス</p> 	<p>自動切換パターンを纏めたツアーを登録するとき、自動切換表示するパターンを選択します。</p> <p>チェックしたパターンのみが自動切換表示されます。</p> <p> コンボボックス：登録されたツアーを選択します。</p> <p> ボタン：ツアー追加画面を表示します。</p> <p> ボタン：ツアー変更画面を表示します。</p> <p> ボタン：ツアーを削除します。</p> <p> ボタン：全パターンがチェックされます。</p> <p> ボタン：全パターンのチェックが外れます。</p>
<p>ツアー追加画面</p> 	<p>ツアー名、備考を入力し、ツアーを新規に登録します。</p>











名 称	説 明
<p>ツアー変更画面</p> 	<p>ツアー名、備考を変更し、既存のツアーを修正します。</p>
<p>登録ボタン</p> 	<p>自動切替表示するカメラおよびツアーの情報が保存され、本画面が閉じます。</p>
<p>戻るボタン</p> 	<p>変更はキャンセルされ、本画面が閉じます。</p>







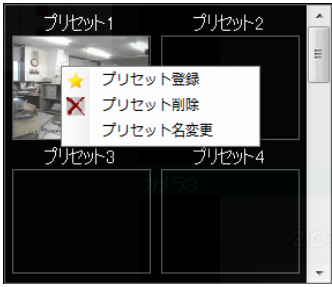

#### 4. 7 PTZコントロール画面

パンチルト・レンズ等が操作できるカメラのとき、ビューメニュー（図4. 1. 1）の「PTZ」を選択すると、PTZ コントロール画面（図4. 7）が表示され、カメラを操作できます。



図4. 7 PTZ コントロール画面

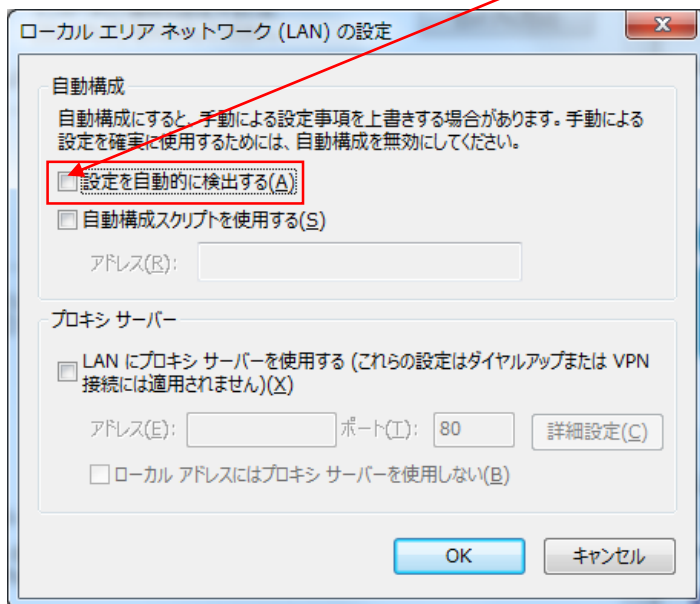
名 称	説 明
左上ボタン  上ボタン  右上ボタン  左ボタン  右ボタン  左下ボタン  下ボタン  右下ボタン 	パンチルトが矢印の方向に動きます。 マウスの左ボタンを押している間、動作します。
速度ボタン 	パンチルト・レンズの動作速度が変わります。 低、中、高の3段階に変更できます。
遠ボタン 	フォーカスが遠方向に動きます。 マウスの左ボタンを押している間、動作します。 フォーカスを遠くのものに合わせたいときに使います。

名 称	説 明
AF ボタン 	ワンプッシュオートフォーカスが動作します。 フォーカスを自動で合わせたいときに使います。
近ボタン 	フォーカスが近方向に動きます。 マウスの左ボタンを押している間、動作します。 フォーカスを近くのものに合わせたいときに使います。
望遠ボタン 	ズームインします。 マウスの左ボタンを押している間、動作します。 遠くのをアップして見たいときに使います。
広角ボタン 	ズームアウトします。 マウスの左ボタンを押している間、動作します。 広い範囲で見たいときに使います。
ワイパボタン 	ワイパが装備されているカメラのみ表示されます。 クリックすると、ワイパが数回動作します。
照明ボタン 	照明が装備されているカメラのみ表示されます。 クリックすると、照明が点灯／消灯します。 照明点灯時、ボタンは青色になります。
プリセットビュー 	プリセット登録されている場合、登録時のサムネイルが表示されます。最大 16 個のプリセットが登録できます。 サムネイルをクリックすると、登録されたプリセット位置にカメラが高速で動きます。 右クリックするとメニューが表示されます。 ・プリセット登録：現在のカメラ位置がプリセット登録され、サムネイルが表示されます。 ・プリセット削除：プリセット登録情報およびサムネイルが削除されます。 ・プリセット名変更：下記のプリセット名変更画面が表示され、プリセット名を変更できます。
プリセット名変更画面 	プリセット名を入力して「OK」ボタンをクリックすると、プリセット名が変更され、本画面が閉じます。 「CANCEL」ボタンをクリックすると、変更はキャンセルされ、本画面が閉じます。

PTZ 操作を行うとき、アプリケーションの起動から最初の制御データ送信に時間が掛かる場合があります。

そのときは、コントロールパネルからインターネットオプションを開き、接続タブに移動して、「LAN の設定(L)」ボタンを押下すると、下記の画面が表示されます。

自動構成の「設定を自動的に検出する(A)」のチェックを外してください。





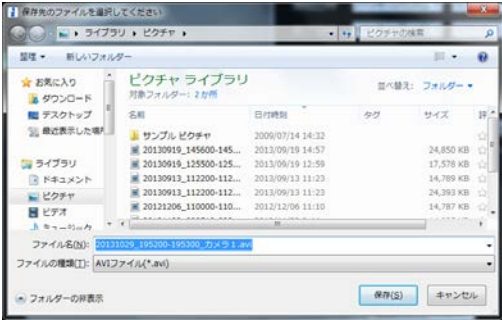
4. 8 AVIファイル変換画面

ビューメニュー（図4. 1. 1）の「AVI変換」を選択すると、AVIファイル変換画面（図4. 8）が表示され、録画映像および音声をAVIファイルに変換できます。



図4. 8 AVIファイル変換画面

名 称	説 明
カメラ名表示 カメラ名 カメラ1	対象のカメラ名が表示されます。
開始日時入力 開始日時 2013年10月25日 15:19:00	AVI変換する記録データの開始日時を入力します。
終了日時入力 終了日時 2013年10月25日 15:20:00	AVI変換する記録データの終了日時を入力します。 長さ指定リストボックスで長さを選択せずに、終了日時を直接指定したいときに入力します。 ※開始日時から1時間を超えた日時は指定できません。 ※長さ指定リストボックスで長さを選択すると、終了日時が自動的に計算されて入力されます。
現在日時ボタン Now	現在の日時が終了日時に入力されます。
長さ指定リストボックス 長さ指定 1 分	AVI変換する記録データの長さを、リストから選択します。 1～60分の間で1分単位で選択できます。 長さを選択すると、終了日時が自動的に入力されます。
取得時間表示 取得時間 00:01:00	AVI変換する記録データの長さが表示されます。

名 称	説 明
<p>プレビュー表示</p> 	<p>AVI 変換する録画映像を、プレビュー表示できます。</p> <p><b>Preview</b> ボタン：プレビュー表示が開始します。 表示が「<b>Stop</b>」に変わります。</p> <p><b>Stop</b> ボタン：プレビュー表示が終了します。 表示が「<b>Preview</b>」に変わります。</p> <p><b>15:19:07</b> : プレビュー表示中の録画時刻が表示されます。</p>
<p><b>名前を付けて保存</b></p>	<p>下記の保存先ファイル指定画面が表示されます。</p>
<p>保存先ファイル指定画面</p> 	<p>AVI ファイルの保存先とファイル名が変更できます。</p> <p>保存先は、保存先設定画面（図4. 1 2）で設定した保存先が表示されます。</p> <p>ファイル名は、以下のファイル名がデフォルトで付きます。 「YYYYMMDD_HHMMSS- YYYYMMDD_HHMMSS_カメラ名.avi」</p> <p>例) 2013/10/29 19:52:00~20:52:00 「カメラ1」の場合 20131029_195200-20131029_205200_カメラ1.avi</p> <p>「保存」ボタンをクリックすると、AVI 変換が開始します。</p>

**【重要】必ずお守りください！**

**INR-2000 の場合**

- (1) AVI ファイルは、必ず D ドライブに保存してください。D ドライブ以外には保存しないでください。D ドライブ以外に保存した場合、数秒の録画抜けが断続的に発生する場合があります。
- (2) 保存した AVI ファイルを、USB メモリや光学ディスクなどの外部メディアにコピーする場合は、本ビューアを終了してからコピーしてください。本ビューアを終了せずにコピーした場合、数秒の録画抜けが断続的に発生する場合があります。

動作確認済み外付け光学ドライブ、光学ディスクは下記です。

動作確認済み外付け光学ドライブ パイオニア BDR-XD05 動作確認済み光学ディスク 太陽誘電 CD-R(2-48x), DVD-R(1-8x), BD-R(1-6x)
--

上記以外の光学ドライブ、光学ディスクでの動作は保証いたしません。

#### 4. 9 音声コントロール画面




音声（マイク）があるカメラのとき、ビューメニュー（図4. 1. 1）の「音声」を選択、または、ビューのタイトルバー右端の  スピーカーアイコンをダブルクリックすると、音声コントロール画面（図4. 9）が表示され、音量を調整できます。



図4. 9 音声コントロール画面

名 称	説 明
ボリュームスライダー 	スライダーを左右に動かして音量を調整します。 消音中にスライダーを動かすと、消音のチェックが外れ消音が解除されます。
消音チェックボックス 	チェックすると無音になります。 チェックを外すと音が出力されます。

#### 4. 10 画質調整画面

ビューメニュー（図4. 1. 1）の「画質調整」をクリックすると、画質調整画面（図4. 10）が表示されます。

本画面では、カメラ毎に表示画質を調整することができます。

※カメラ本体の画質は調整できません。



図4. 10 画質調整画面

名 称	説 明																												
カメラ名ラベル カメラ1(JPEG2000)	画質調整対象カメラ名が表示されます。																												
画質調整トラックバー 	表示映像の「色相」、「明度」、「彩度」、「コントラスト」、「シャープネス」、「ガンマ補正」の調整ができます。 調整範囲は以下となります。 <table border="1" data-bbox="707 470 1305 817"> <thead> <tr> <th>調整項目</th> <th>最小値</th> <th>初期値</th> <th>最大値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色相</td> <td>-180</td> <td>+180</td> <td>+180</td> </tr> <tr> <td>明度</td> <td>0.00</td> <td>1.00</td> <td>2.00</td> </tr> <tr> <td>彩度</td> <td>0.00</td> <td>1.00</td> <td>2.00</td> </tr> <tr> <td>コントラスト</td> <td>0.00</td> <td>1.00</td> <td>2.00</td> </tr> <tr> <td>シャープネス</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>2.00</td> </tr> <tr> <td>ガンマ補正</td> <td>0.10</td> <td>1.00</td> <td>10.00</td> </tr> </tbody> </table> ※シャープネスを初期値(0.00)以外にすると、CPU 負荷が高くなり記録および表示が欠落する場合があります。ご注意ください。	調整項目	最小値	初期値	最大値	色相	-180	+180	+180	明度	0.00	1.00	2.00	彩度	0.00	1.00	2.00	コントラスト	0.00	1.00	2.00	シャープネス	0.00	0.00	2.00	ガンマ補正	0.10	1.00	10.00
調整項目	最小値	初期値	最大値																										
色相	-180	+180	+180																										
明度	0.00	1.00	2.00																										
彩度	0.00	1.00	2.00																										
コントラスト	0.00	1.00	2.00																										
シャープネス	0.00	0.00	2.00																										
ガンマ補正	0.10	1.00	10.00																										
インターレース解除チェックボックス <input checked="" type="checkbox"/> デインターレース	インターレース解除処理を ON/OFF します。 チェックありが ON、チェックなしが OFF です。																												
初期値ボタン 	全ての調整項目を初期値に戻します。																												
保存ボタン 	調整値が保存されます。																												
戻るボタン 	本画面が閉じます。																												

#### 4. 1 1 モザイク設定

ビューメニュー（図4. 1. 1）の「モザイク」をクリックすると、モザイク設定画面（図4. 11）が表示され、下記のように映像にモザイクをかけることができます。モザイクの大きさをピクセルサイズのスライダーバーで調整することができます。モザイクを解除するときはピクセルサイズを 0dot にしてください。

本画面でモザイクをカメラ毎に設定できます。また、全てのカメラに適用をチェックすると、全カメラのモザイクを同じ設定にできます。「Cancel」ボタンを押すと元に戻り、「OK」ボタンを押すと適用されます。



モザイクなし



モザイクあり

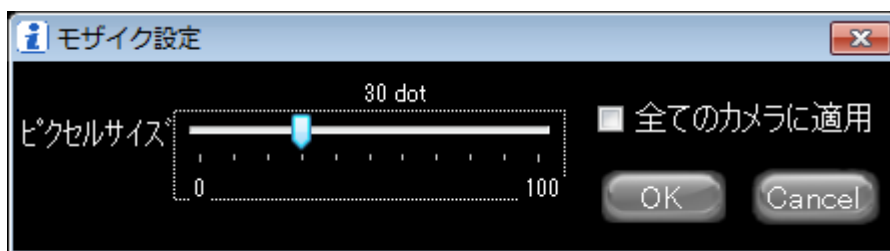


図4. 1 1 モザイク設定画面




#### 4. 1 2 保存先設定

ビューメニュー（図4. 1. 1）の「保存先」をクリックすると、保存先設定画面（図4. 12）が表示されます。

本画面でスナップショットおよび AVI ファイルの保存先をカメラ毎に設定することができます。



図4. 1 2 保存先設定画面

名 称	説 明
<p>スナップショット保存先</p> 	<p>スナップショットの保存先を入力します。   ボタンをクリックすると、フォルダ選択画面が表示されます。</p>
<p>ダウンロード保存先</p> 	<p>AIV ファイルの保存先を入力します。   ボタンをクリックすると、フォルダ選択画面が表示されます。</p>
<p>初期値ボタン</p> 	<p>スナップショットおよび AVI ファイルの保存先を初期値（下記）に戻します。                      INR-2000(スタンドアロン)の場合                      スナップショット：D:\Download\Picture                      AVI ファイル：D:\Download\Video                      INR-3000SW（クライアント）の場合                      スナップショット：C:\User\[ユーザー名]\Pictures                      AVI ファイル：C:\User\[ユーザー名]\Videos</p>
<p>OK ボタン</p> 	<p>設定値が保存され、本画面が閉じます。</p>
<p>Cancel ボタン</p> 	<p>本画面が閉じます。                      設定値は保存されません。</p>
<p><input type="checkbox"/> 全のカメラに適用</p>	<p>チェックして「OK」ボタンを押下すると、指定した保存先が全てのカメラに設定されます。</p>

#### 4. 13 電子ズーム

ビューメニュー（図4. 1. 1）の電子ズームの範囲を選択すると、マウスポインタが領域選択カーソルに変更されます。マウスポインタでビューの映像の一部を範囲指定すると、範囲指定した部分をズームアップして表示することができます。操作方法は以下となります。

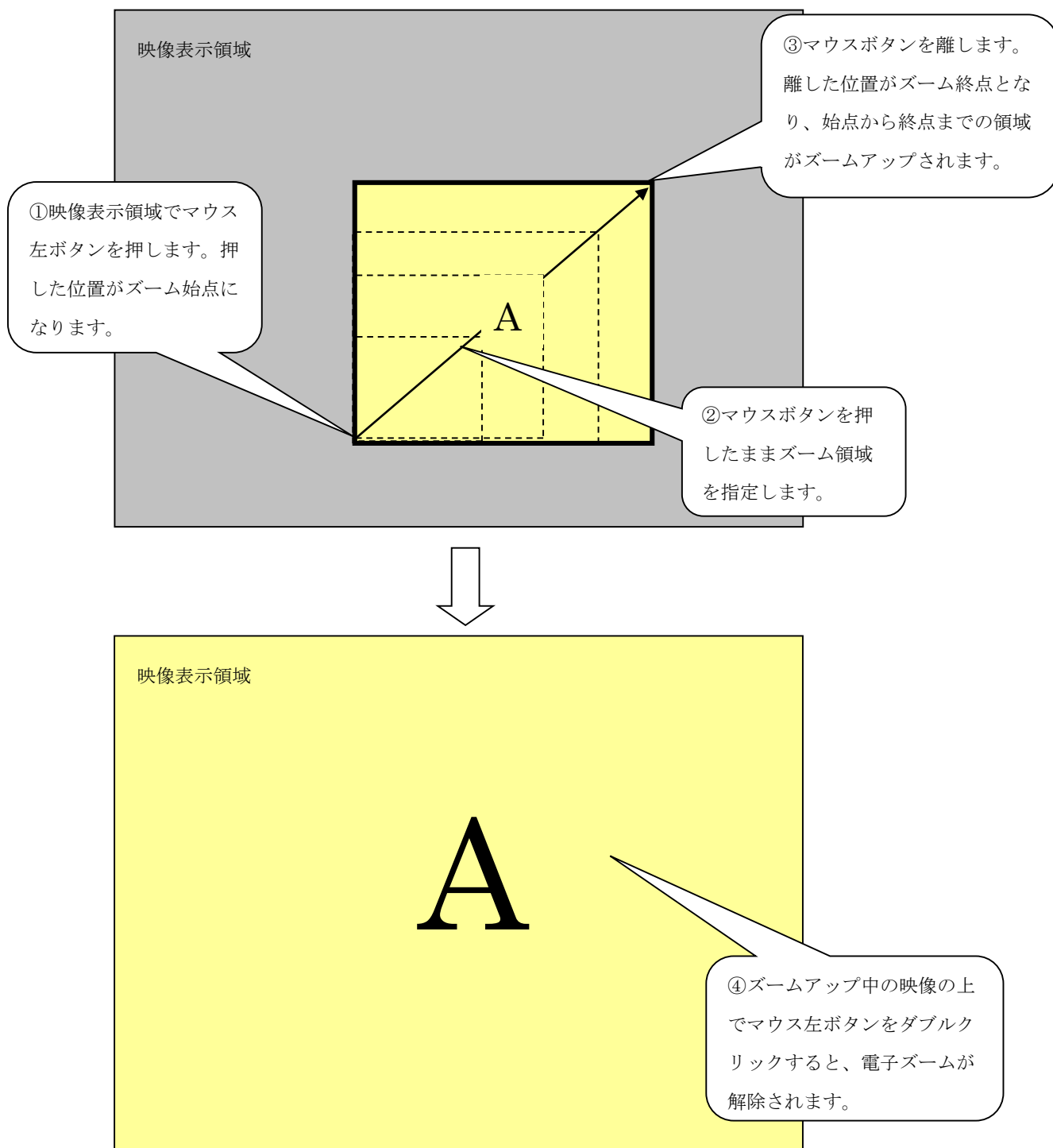


図4. 13 電子ズーム



4. 1 4 映像表示方法

4. 1 4.1 左上のビューから順に表示(カメラリストをダブルクリック)

カメラリストから映像表示したいカメラを選択してダブルクリックすると、左上から順に空いている(映像表示していない)ビューにそのカメラ映像が表示されます。ビューの空きがない場合は表示されませんので、レイアウトを変更してビューの数を増やして下さい。

- ① カメラリストからカメラを選択 (クリック) します。



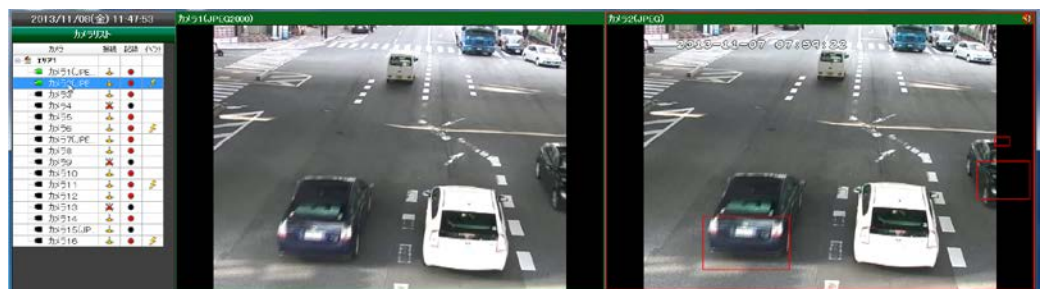
- ② 選択したカメラをダブルクリックすると空きビューに表示されます。



- ③ カメラリストから次に表示するカメラを選択します。



- ④ 選択したカメラをダブルクリックすると次の空きビューに表示されます。



4. 1 4.2 任意のビューに表示（カメラリストからドラッグ&ドロップ）

カメラリストから表示するカメラを選択した後、マウス左ボタンを押したまま移動（ドラッグ）すると、カメラアイコンが表示されます。カメラアイコンを表示したいビューまで移動してマウス左ボタンを離す（ドロップ）と、その位置に表示されます。

- ① カメラリストからカメラを選択（クリック）します。



- ②マウス左ボタンを押し、そのまま移動（ドラッグ）します。



③表示したいビューの上まで、マウスを移動します。



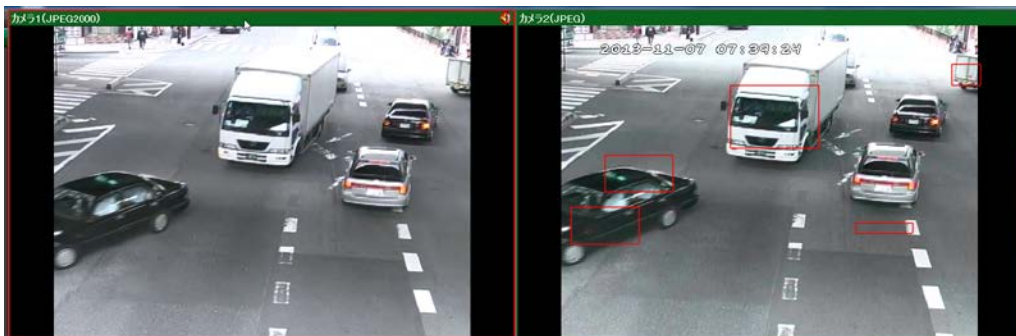
④左ボタンを離（ドロップ）します。



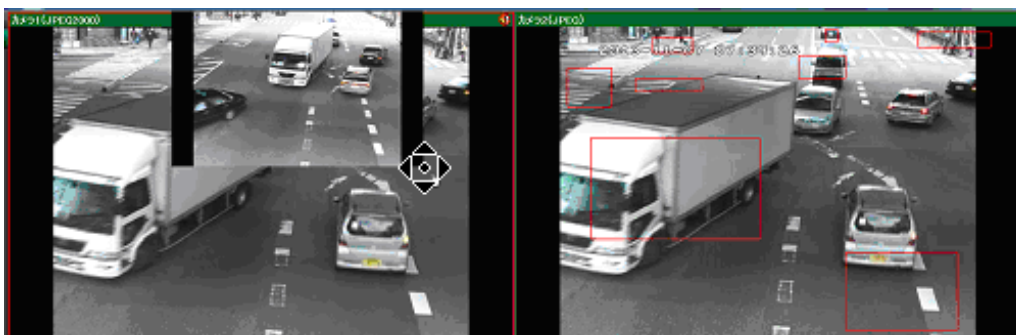
#### 4. 1 4.3 ビューの入れ替え（ビューのドラッグ&ドロップ）

ビューのタイトルバーをマウス左ボタンで押し、押したまま移動（ドラッグ）すると、小さいビューを表示し、マウスポインタが移動カーソルに変更されます。マウスポインタを入れ替えたいビューまで移動してボタンを離す（ドロップ）と、ビューが入れ替わります。

①ビューをマウス左ボタンで押します。



②押したまま移動（ドラッグ）します。



③入れ替えたいビューの上でドロップします。



⑤ ビューが入れ替わります。





#### 4. 1 5 画面設定（初期表示設定／その他）

画面左下の「設定」ボタンをクリックすると、画面設定ウィンドウが表示され起動時の表示やタイトル表示、自動ログイン、その他の設定ができます。

##### 4. 1 5.1 起動表示設定



**画面の大きさ**：起動時の画面サイズを設定します。

通常ウインドウ：最大画面のウインドウ表示。（デフォルト）

全画面：カメラリストや枠のないビュー表示。

**画面パターン**：最終画面表示または登録されたパターンを表示します。

最終画面表示、パターン1～100を選択します。（デフォルト最終画面表示）

**ストレッチ**：カメラのアスペクト比に関係なくビューのサイズ一杯に映像を伸縮表示します。

しない：ストレッチ OFF（デフォルト）

する：ストレッチ ON

**枠表示**：表示領域の枠を表示します。

しない：表示領域枠 OFF

する：表示領域枠 ON（デフォルト）

**サムネイル検索**：記録映像をサムネイル表示し検索します。

しない：サムネイル検索 OFF（システム：デフォルト）

する：サムネイル検索 ON（スタンドアロン：デフォルト）

**アラーム検索**：アラーム検出を検索しリスト表示します。

しない：アラーム検索 OFF（デフォルト）

図4. 15. 1 起動表示タブ

**マップ機能**：マップ上にカメラ配置をして動作監視します。

**利用**：マップ機能を利用できます。

しない：マップ機能 OFF（スタンダアロン：デフォルト）

する：マップ機能 ON（システム：デフォルト）

**表示**：マップ機能を起動時に表示します。

しない：マップ機能表示 OFF（デフォルト）

する：マップ機能表示 ON

**エリア**：マップ機能を起動時に表示するエリア。

エリアを選択します。

**自動切換**：一定時間毎に画面表示を切換えます。

**モード**：切換える対象を指定します。

カメラ：対象カメラを順次切換えます。（デフォルト）

ツアー：対象ツアーのパターンを順次切換えます。

**ツアー**：対象ツアーを指定します。

**時間**：自動切換の間隔を指定します。

5～30秒(デフォルト 5)

**動作**：自動切換設定をします。

しない：自動切換をしません。

する：起動時に自動切換します。

**詳細設定**：図4. 6 自動切換パターン登録画面を表示します。

**初期値**：起動表示項目を初期化します。

**登録**：設定を XML に保存し、画面を終了します。

**戻る**：画面を終了します。

4. 15.2 タイトル表示設定

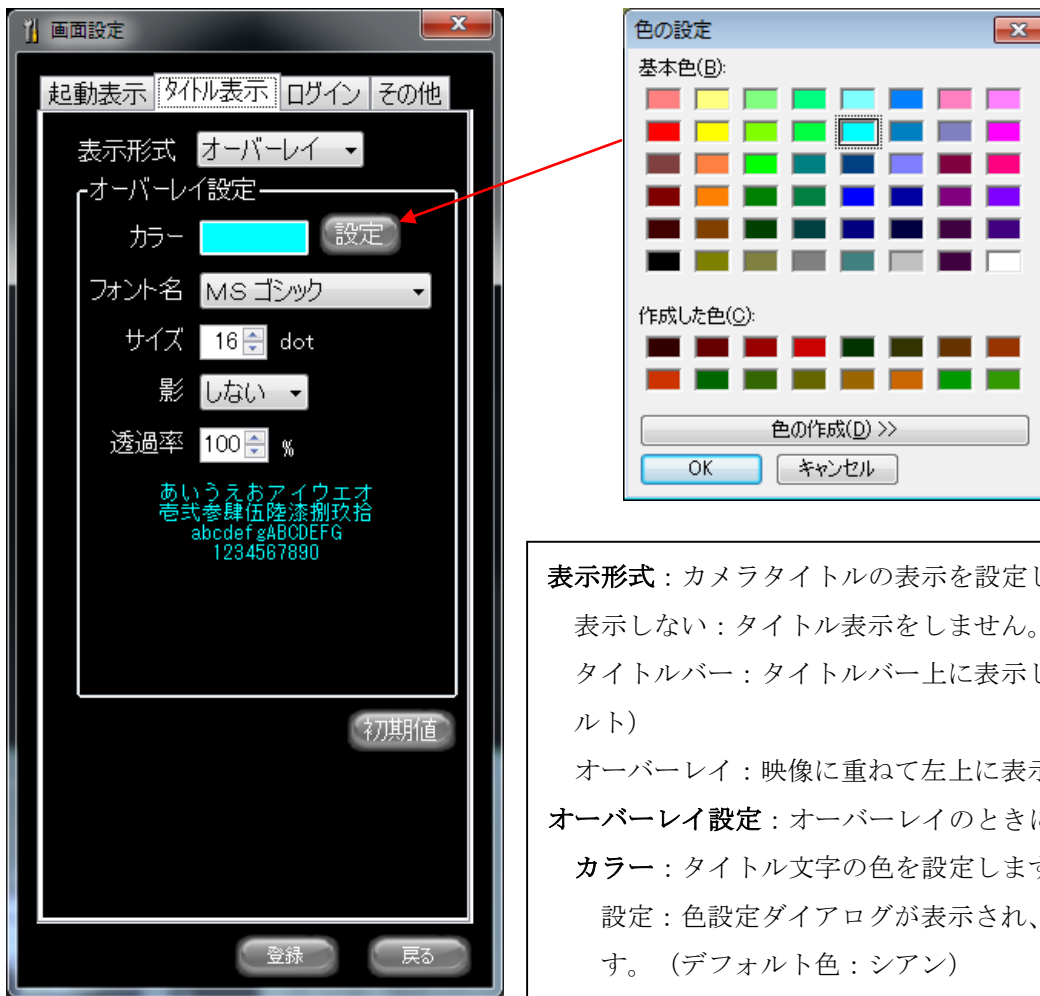


図 4. 15. 2 タイトル表示タブ

**表示形式**：カメラタイトルの表示を設定します。  
 表示しない：タイトル表示をしません。  
 タイトルバー：タイトルバー上に表示します。（デフォルト）  
 オーバーレイ：映像に重ねて左上に表示します。

**オーバーレイ設定**：オーバーレイのときに行う各種設定。

**カラー**：タイトル文字の色を設定します。  
 設定：色設定ダイアログが表示され、色を指定します。（デフォルト色：シアン）

**フォント名**：タイトル文字のフォントを設定します。  
 日本語対応のフォントを選択します。（デフォルト：MS ゴシック）

**サイズ**：タイトル文字の大きさを設定します。  
 8～72ドットの範囲を指定します。（デフォルト：16）

**影**：タイトル文字に影を設定します。  
 しない：影 OFF（デフォルト）  
 する：影 ON

**透過率**：タイトル文字の透過度の割合を設定します。  
 0～100の範囲を指定します。（デフォルト：100）この率が小さいほど文字が見えなくなります。

**初期値**：タイトル表示項目を初期化します。

**登録**：設定をXMLに保存し、画面を終了します。

**戻る**：画面を終了します。

4. 15.3 ログイン



図 4. 15. 3 ログインタブ

**自動ログイン**：ログイン画面を表示しないで、自動ログインユーザーで起動します。  
(チェックボックスをチェック)

**ユーザー名**：自動ログインするユーザー名を入力します。

**パスワード**：自動ログインするユーザー名のパスワードを入力します。

**ユーザー変更**：ログイン画面 (図 4. 15. 3. 1) を表示し、現在ログインしているユーザーから他のユーザーでログインします。

**ユーザー管理**：ユーザー一覧画面 (図 4. 15. 3. 2) を表示し、ユーザーの登録／修正／削除を行います。

**登録**：設定を XML に保存し、画面を終了します。

**戻る**：画面を終了します。

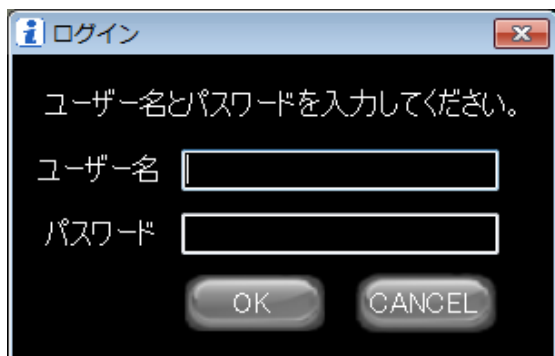


図 4. 15. 3. 1 ログイン画面

**ユーザー名**：ログインを変更するユーザー名を入力します。

**パスワード**：ログインを変更するユーザー名のパスワードを入力します。

**OK**：設定を XML に保存し、画面を終了します。

**CANCEL**：画面を終了します。





図 4. 15. 3. 2 ユーザー一覧画面

**新規**：ユーザー登録画面（図 4. 15. 3. 2. 1）を表示します。

**修正**：ユーザー編集画面（図 4. 15. 3. 2. 2）を表示します。

**削除**：選択行のユーザーを削除します。確認ダイアログが表示されます。

**CANCEL**：画面を終了します。

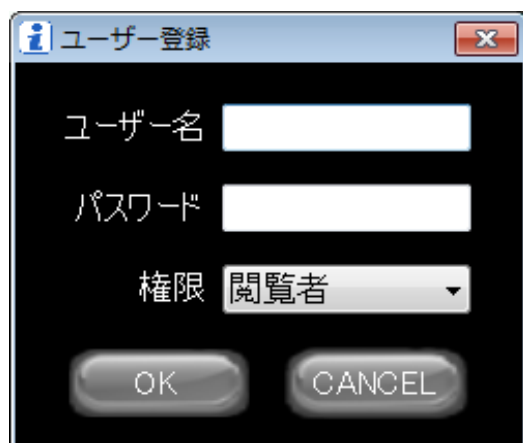


図 4. 15. 3. 2. 1 ユーザー登録画面

**ユーザー名**：新規にログイン登録するユーザー名を入力します。

**パスワード**：新規にログイン登録するユーザー名のパスワードを入力します。

**権限**：ビューワーの操作レベルを設定します。閲覧者、操作者、管理者の3レベルです。

**OK**：設定を XML に保存し、画面を終了します。

**CANCEL**：画面を終了します。

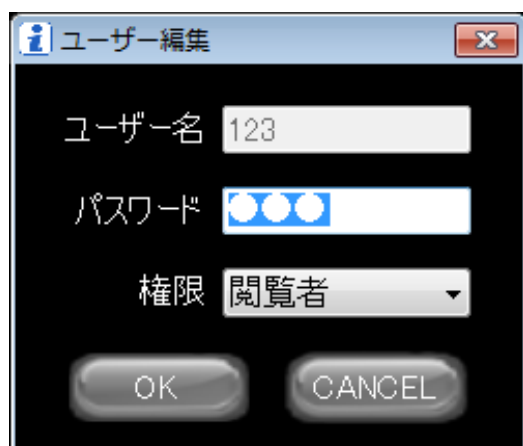


図 4. 15. 3. 2. 2 ユーザー編集画面

**ユーザー名**：入力不可。（選択行のユーザー名）

**パスワード**：変更するパスワードを入力します。

**権限**：変更するビューワーの操作レベルを設定します。閲覧者、操作者、管理者の3レベルです。

**OK**：設定を XML に保存し、画面を終了します。

**CANCEL**：画面を終了します。

4. 15.4 その他



図4. 15. 4 その他タブ

**アラーム表示**：センサーアラームが発生したとき、ポップアップメッセージを表示しアラーム鳴動、発生カメラを単画面表示します。（初期値：チェック）

**モザイク**：映像にモザイクをかける設定を有効にします。（初期値：チェックなし）

**PTZ ボタン**：メイン画面に PTZ ボタンを表示するとき有効にします。（初期値：チェックなし）

**故障通知**

**故障表示**：故障通知を受信したときに故障発生画面を表示します。（初期値：チェック）

**警告音**：故障発生画面が表示されたときに警告音を鳴動させます。（初期値：チェック）

**選択**：故障通知選択画面（図 4.15.4.1）を表示します。

**カメラリスト設定**

**接続**：カメラリストの接続項目の表示／非表示を設定します。（初期値：表示（チェック））

**記録**：カメラリストの記録項目の表示／非表示を設定します。（初期値：表示（チェック））

**検出**：カメラリストの検出項目の表示／非表示を設定します。（初期値：表示（チェック））

**ログ設定**

**保存期間**：ログファイルの保存期間を設定します。（0～6ヶ月、初期値3ヶ月）

※0のときはログを記録しません。

**表示**：ログ参照画面（図4. 16）を表示します。

**クリーンアップ**：ログファイルを消去します。

**ジョイスティック**

**利用**：USB ジョイスティックを接続して使用するときにチェックします。

**設定**：上記利用がチェックされている場合、ジョイスティックコントロールボタン登録画面（図4. 18）を表示します。

**メンテナンス**：メンテナンスアプリを起動します。

**初期値**：その他の設定項目を初期化します。

**登録**：設定を XML に保存し、画面を終了します。

**戻る**：画面を終了します。

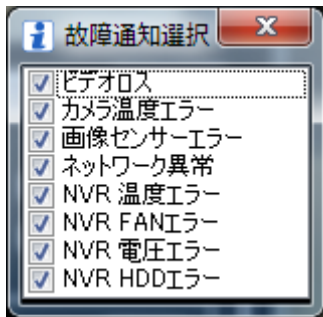


図 4. 15. 4. 1 故障通知選択

**ビデオロス**：カメラのビデオロス通知を有効にします。  
**カメラ温度エラー**：カメラの内部温度エラー通知を有効にします。  
**画像センサーエラー**：カメラの画像センサーエラー通知を有効にします。  
**ネットワーク異常**：カメラネットワークの異常通知を有効にします。  
**NVR 温度エラー**：NVR の M/B 温度エラー通知を有効にします。  
**NVR FAN エラー**：NVR の M/B FAN エラー通知を有効にします。  
**NVR 電圧エラー**：NVR の M/B 電圧エラー通知を有効にします。  
**NVR HDD エラー**：NVR の HDD エラー通知を有効にします。

4. 16 ログ参照

その他タブ (図 4. 15. 4) からログ表示ボタンをクリックすると、ログ参照画面 (図 4. 16) が表示されます。

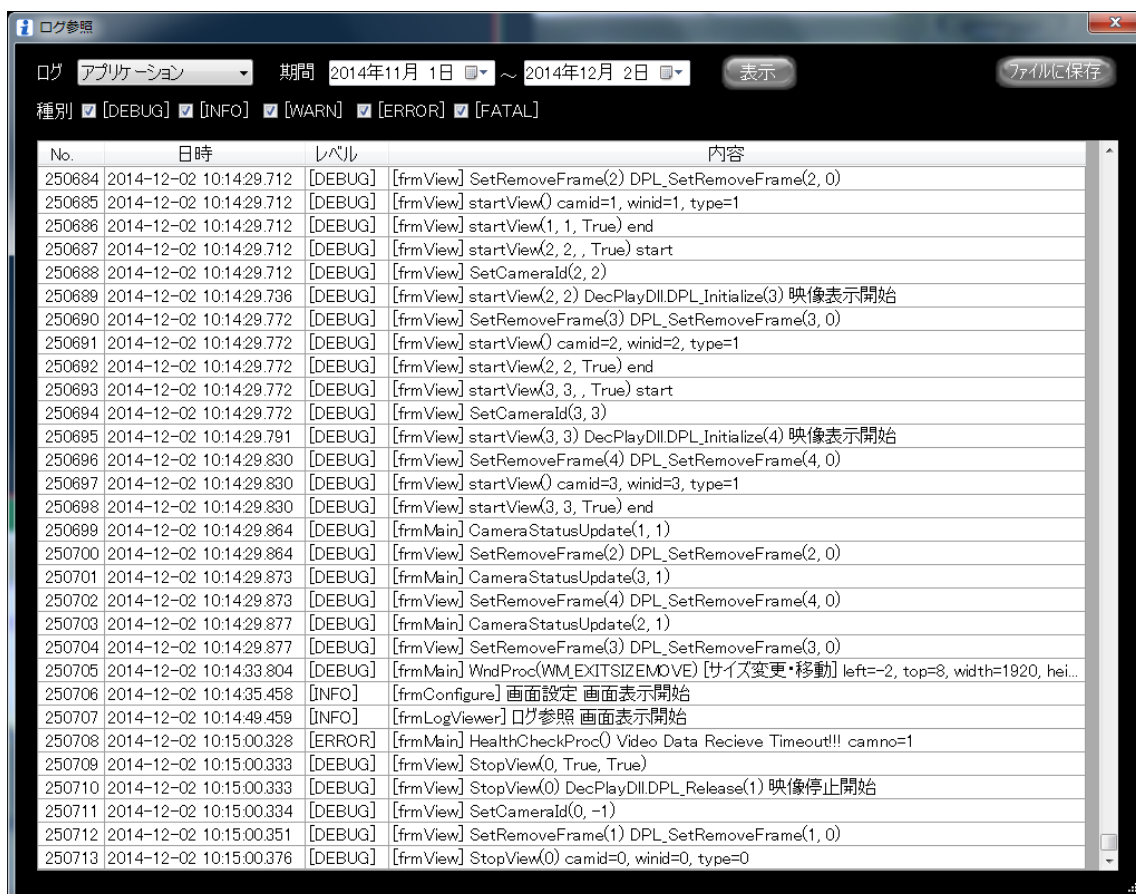






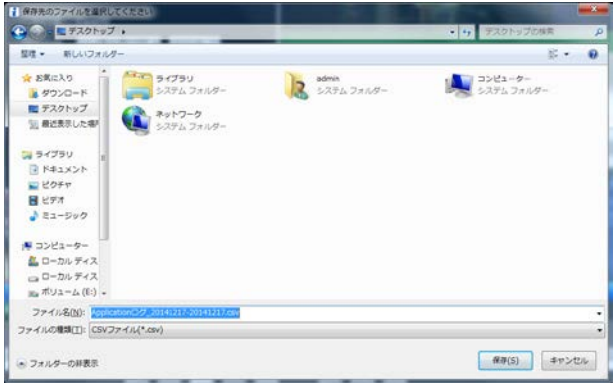



図 4. 16 ログ参照画面

名 称	説 明
<p>ログ選択コンボボックス</p> 	<p>表示させるログの種類を選択します。</p> <p>アプリケーション/アラーム/操作/通信/故障/表示 DLL から選択します。</p>
<p>期間指定カレンダー</p> 	<p>ログの期間指定するときの開始日と終了日を指定します。</p>
<p>種別選択チェックボックス</p> 	<p>ログ内容の種別を選択します。</p> <p>チェックされた項目を表示します。DEBUG、INFO、WARN、ERROR、FATAL が選択できます。</p>
<p>表示ボタン</p> 	<p>ログ表示を開始するボタン。条件に一致したログ情報がデータグリッドに表示されます。</p>
<p>中止ボタン</p> 	<p>ログ表示中にログボタンの右側に表示されます。</p> <p>このボタンをクリックするとログ表示を中止し、データ取得途中までのデータをデータグリッドに表示します。</p>
<p>ファイル保存ボタン</p> 	<p>データグリッドに表示されたデータを CSV 形式でファイルに保存します。</p>
<p>保存先ファイル指定画面</p> 	<p>CSV ファイルの保存先とファイル名が変更できます。</p> <p>デフォルトの保存先はデスクトップになっています。</p> <p>ファイル名は、検索条件によって異なりますが、以下のファイル名がデフォルトで付きます。</p> <p>「ログ名_開始年月日-終了年月日.csv」</p> <p>例) ログ：アプリケーション</p>

	<p>期間：2014/12/17～2014/12/17 の場合 Application ログ_20141217- 20141217.csv 「保存」ボタンをクリックすると、CSV 形式ファイルを保存します。</p>
<p style="text-align: center;">ログデータグリッド</p> 	<p>ログの条件に一致したログ情報が表示されます。</p>

4. 1 7 故障通知画面

4. 1 7.1 故障発生画面

故障が発生したときポップアップし、発生時間と故障箇所、故障内容を表示します。アラームの鳴動を「消音」ボタンもしくは、「OK」ボタンを押して止めることが出来ます。「ログ」ボタンを押すと「ログ表示」ウィンドウが立ち上がり、故障ログの詳細を確認することが出来ます。

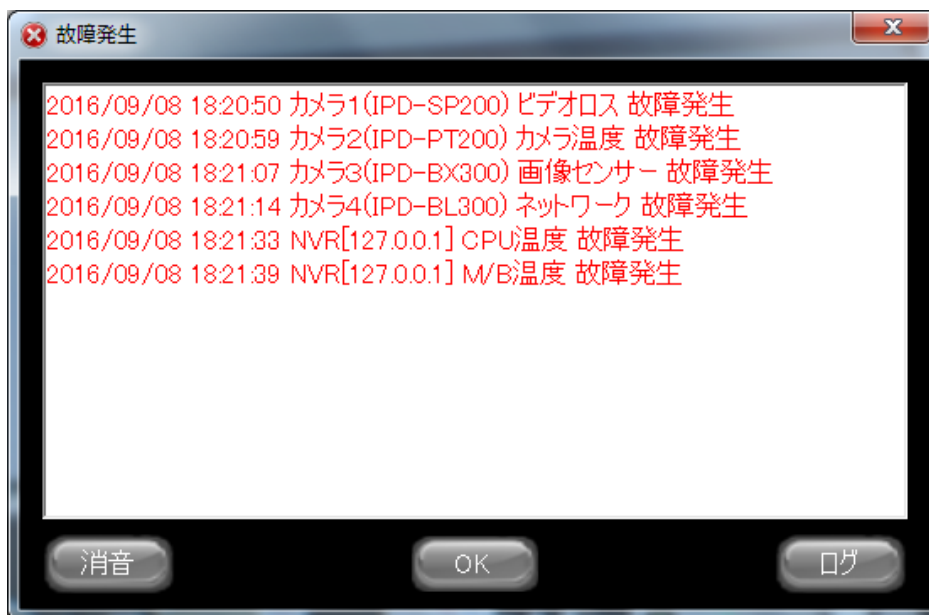


図 4. 1 7. 1 故障発生画面

4. 1 7.2 故障情報画面

故障情報画面はカメラリストのラベルをダブルクリックすることで、いつでも表示させることができます。

故障発生中はカメラリストのラベルが赤く点滅し、故障が解消されると通常の色に戻ります。

	正常時	故障発生時
故障情報画面		
カメラリスト		

図 4. 1 7. 2 故障情報画面


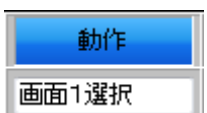

#### 4. 18 ジョイスティックコントローラボタン登録画面

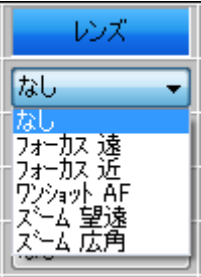


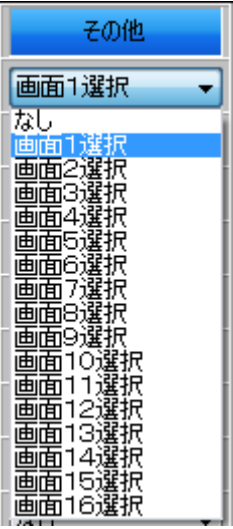



その他タブ（図4. 15. 4）からジョイスティックの「利用」をチェックして「設定」ボタンをクリックすると、ジョイスティックコントローラボタン登録画面（図4. 18）が表示されます。

この画面が表示されているときは、ジョイスティックでカメラ制御ができません。




図4. 18 ジョイスティックコントローラボタン登録画面


名 称	説 明
クリアボタン 	ボタンに割付けた機能を解除します。
動作確認表示 	ボタンを押下すると青色に変化して表示されます。
速度機能選択 	速度の切替機能をボタンに割当てるときに選択します。
レンズ機能選択	レンズのズーム、フォーカスの機能をボタンに割当てるときに選択します。

	
<p>オプション機能選択</p> 	<p>カメラの拡張機能をボタンに割当てるときに選択します。          ※スナップショットは全てのPTZカメラで使用できますが、カメラによっては使用できない機能があります。</p>
<p>プリセット機能選択</p> 	<p>プリセットの実行／登録機能をボタンに割当てるときに選択します。          この機能を割当てたボタンを押しながら他のボタンを押下するとそのボタン番号のプリセットが実行／登録されます。</p>
<p>その他機能選択</p> 	<p>表示されている画面を選択する機能をボタンに割当てるときに選択します。          画面を選択してカメラを切替ながらPTZ操作をすることが出来ます。</p>
<p>初期化ボタン</p> 	<p>ボタンに割当てた機能を初期化します。</p>
<p>テストボタン</p> 	<p>ボタンを押下すると下記の画面が表示され、ジョイスティックやボタンの確認が出来ます。（実際の動作はしません）          テストを終了するときは  ボタンを押下してください。</p>



	
<p>登録ボタン</p> <div data-bbox="252 506 448 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">登録</div>	<p>ボタンに割当てた機能をファイルに保存します。これにより次回、起動時に登録された機能を使用できます。</p>
<p>戻るボタン</p> <div data-bbox="252 651 448 723" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">戻る</div>	<p>ジョイスティックコントローラボタン登録画面を終了します。</p>

4. 19 アプリケーションの終了

 をクリックすると、終了確認のダイアログが表示されます。「はい(Y)」ボタンをクリックすると本ビューアが終了します。

※ビューアを終了しても録画は停止しません。

クリックします



図4. 19 アプリケーション終了